

第3分科会 公開保育①ー学校法人有馬学園 真珠幼稚園ー

ねらい 子どもを取り巻く家庭や地域の環境が変化する中、これからの幼児教育の役割について、公開保育を通して考える

指導助言者 公開保育コーディネーター

1) 谷の百合幼稚園 橋本 真	5) 認定こども園倉吉幼稚園 日野 彰則
2) ひろみ幼稚園 清川 里佳	6) 認定こども園美哉幼稚園 西本 和夫
3) 朝日塾幼稚園 岡崎多美子	7) 宇部フロンティア大学付属幼稚園 末永 順子
4) 敬愛幼稚園 永宗 智子	8) 認定こども園松崎幼稚園 脇 正典



今回の公開保育では、夏季保育中であるということと、公開保育の時間が9時から10時10分までと限られていたため、朝の自由時間を公開することにした。

(真珠幼稚園の課題)

自然と関わる時間の確保と、子どもが思い思いの遊びを展開できる環境の充実を課題としている。

(登園時・朝の自由時間の配慮点)

真珠幼稚園では、登園時、園バスへの乗車や登園してくる園児への対応等々で子どもと関われる教職員が十分とは言えない。そのような状況の中で子どもたちの安全はもちろん、クラス活動にスムーズに移行できるよう、なるべく制限を設けず、思い思いの遊びが展開できるよう配慮している。

以上の課題と配慮点を踏まえ二つの問いを設定した。

問1 朝の自由時間で、子どもたちの様子はどう感じられましたか？

(具体的な場面があれば記述をお願いします)

問2 保育者と子どもたち、又は保護者とのかかわりについて、どう感じられましたか？

(具体的な場面があれば記述をお願いします)

日程上、園の状況説明や公開保育の研究協議の進め方など時間の確保が難しいため、バスの移動時間(約50分)を利用した。

話し合いで大切にしたいこととして

- ① 自分の感じていることを素直に話すこと
- ② 相手の話をきちんと聞くこと
- ③ 否定批判はしないこと
- ④ 同じ目線で悩み考えること

また、問1についてはピンクの付箋を、問2については青の付箋に記入していただくこととした。



予定通り 9 時に真珠幼稚園に到着し、朝の自由遊びと登園の様子を参観していただいた。子どもたちは多少の戸惑いはあったものの、普段通りの遊びを展開していった。

研究協議は 8 グループに分かれて行われた。

50 分という短い時間であったが、活発な意見交換が行われていたようである。

また、時間の関係上グループごとの発表は帰りのバスの時間を利用し行われた。



グループ発表された内容についていくつかを抜き出してみた。

問1 朝の自由時間で子どもたちの様子はどう感じられましたか。

- ・遊びを先生が提供するのではなく、子どもたちが遊びを展開していた。
- ・保育園児や異年齢児とのかかわりが多くみられる。
- ・園庭にコーナーを設定してあり、遊びを見つけやすいよう工夫されている。
- ・子どもたちに任せることによって子どもたちの可能性が広がっていくのだということを感じた。

問2 保育者と子どもたち、又は保護者とのかかわりについて、どう感じられましたか？

- ・保育者の温かい雰囲気（言葉かけ・見守り）が、子どもたちの遊ぶ環境をより多彩なものにしている。
- ・受け入れの時間帯、また、室内と屋外にいる先生の連携がとてもスムーズで、全体をしっかりと見れているように感じた。
- ・少し危険なことも止めずに見守っていた。
- ・子どもが登園してくるとき小走りで迎えに行き、手を繋いで園舎まで連れてくる。
- ・朝の体操のとき、していない子どもに対しての声かけが少なかったように感じる。

（感想）～公開保育園として～

朝の自由時間という保育者が少ない中、「関わりすぎないことで、子どもが主体的に遊びを見つけ、異年齢児の関わりが多く見られた」など、日頃の保育では意識していなかった子どもの姿に気付かせていただきました。

今回参加された先生方が充実した時間となったかは不安なところですが、公開保育提供園としては、何気ない日常の保育を見つめなおす大変有意義な時間になりました。